平成20年度　実施計画事業評価シート

１.事業の位置付け

事務事業名	サン・サンスタッフ派遣事業		
事業担当	学校教育部　教職員課		
予算科目	01－100103－080000	事業種類	○ ハード　● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標１　豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉　一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託：　□3セク・財団　□企業　□ＮＰＯ　□その他　】【協働：　】		

目的・目標	事業の概要
学校教育の場において、教育活動や読書活動が充実しています。	児童・生徒一人一人に応じた指導の充実や学習活動及び読書活動の充実を図るため、サン・サンスタッフ（学習支援補助員、学校司書）を派遣します。

２.事業の検証

活動指標①

指標名	学習支援補助員配置人数	単位	人
説明・算定式	ー		

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
目標			94	104	114		
実績			94				

活動指標②

指標名	学校司書配置人数	単位	人
説明・算定式	ー		

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
目標			12	20	28		
実績			12				

成果指標①

指標名	サン・サンスタッフ派遣に係る学校評価（指導・支援力）	単位	点
説明・算定式	「サン・サンスタッフは、指導・支援力があった」とする評価（５段階）の、全小中学校の回答の平均		

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
目標			4.2	4.3	4.4		
実績			4.2				

成果指標②

指標名	サン・サンスタッフ派遣に係る学校評価（教員との連携）	単位	点
説明・算定式	「サン・サンスタッフと教員との連携ができた」とする評価（５段階）の、全小中学校の回答の平均		

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
目標			4.2	4.3	4.4		
実績			4.2				

進捗状況	①：予定どおり	
	遅れている理由	

平成19年度の主な取組と成果

サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を２８小学校、１５中学校に、サン・サンスタッフ（学校司書）を１２校に派遣し、支援活動や読書活動を充実することができた。

平成19年度の検証結果	Ａ：成果があがった

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	■ 市民ニーズ □ 事業目的の達成状況 ■ 市の関与の必要性 □ その他	サン・サンスタッフ（学習支援補助員）は、様々な課題を持つ児童・生徒への支援を行っており、また、サン・サンスタッフ（学校司書）は、「平塚市子ども読書推進計」と連動しており、学校や地域からの要望が高い。	● 高 ○ 低
	有効性	□ 上位施策への貢献 ■ 市民満足度を高める方策 ■ 継続による成果向上の可能性 □ その他	派遣により、様々な課題を持つ児童・生徒への適切かつきめ細かな対応が図られ、落ち着いた授業・学級形成が可能となり、また、学校図書館活動が充実しているため、地域・保護者・学校から高い評価を得ている。	● 高 ○ 低
	妥当性	■ 事業の目的、対象、内容 □ 受益者負担、補助額 □ 業務の執行体制（人員配置、業務分担） □ その他	様々な課題を持つ児童・生徒への適切かつきめ細かな支援を行っており、地域・保護者・学校からも要望が高いため、事業内容は妥当性が高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	□ 業務プロセス改善による効率化の方策 □ コスト削減の可能性 □ 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） ■ その他	学習支援や学校図書活動推進のためのサン・サンスタッフ派遣のニーズは高く、更なる推進のため、増員により事業の効率性を高める必要がある。	○ 高 ● 中 ○ 低

今後に向けた課題の分析

学校教育法の改正による小・中学校等における特別支援教育の推進等に伴い、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）派遣の重要性・必要性の増加が考えられる。
読書活動推進のためサン・サンスタッフ（学校司書）の必要性は高いためより多くの派遣が必要である。

３．年度別事業内容・事業費

（単位：千円）

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				サン・サンスタッフの派遣	サン・サンスタッフの派遣	サン・サンスタッフの派遣		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他　特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	49,077	57,296	68,764	0	0
事業費（A）		0	0	49,077	57,296	68,764	0	0
執行率（%）		0.00	0.00	92.64				
内訳	職員（人）	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費（B）		0	0	3,357	3,357	3,357	0	0
フルコスト（A+B）		0	0	52,434	60,653	72,121	0	0

４．今後の事業展開（担当課としての提案）

平成21年度の事業の方向性

○ 現状の規模で継続　● 拡大して継続　○ 縮小して継続　○ 廃止　○ 休止　○ 終了　○ 他事業と統合

＜判断理由＞
様々な課題を持つ児童・生徒へ適切かつきめ細かな対応を図るため、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）の増員が必要となる。また、学校図書館の環境整備や貸し出し体制の充実等により、読書への関心・学習に関する図書の関わりを深め、「平塚市子ども読書活動推進事業」と連携するため、サン・サンスタッフ（学校司書）の増員を進める。

平成21年度の取組方針

サン・サンスタッフ（学習支援補助員）は、小・中学校の現場の実態を把握し、有効的な人数配置とする。
サン・サンスタッフ（学校司書）は、社会教育課の子ども読書活動推進事業と連携を図った配置とする。

課長コメント	学校教育法改正による小・中学校等における特別支援教育の推進や、さまざまな課題を抱える子どもたちに対し、サン・サンスタッフ（学習支援補助員）派遣の重要性・必要性は学校だけでなく地域・保護者からも認められている。また、読書活動推進のためサン・サンスタッフ（学校司書）の必要性は高く、全小・中学校への配置を目指したい。